

第3回北九州市食育推進懇話会 議事要旨

議題1 確認事項

- ・目指す市民の姿のうち「環境配慮した食生活の実践する」については、フードマイレージの削減等考慮し、「国産のもの」の記載は残す。
- ・健康増進法に基づく市町村健康増進計画である「健康づくり推進プラン」の方向性等も考慮し、連携・連動した取組みとなるよう、次期食育推進計画を策定していく。

議題2 次期北九州市食育推進計画基本方針 I・IIの具体的事業について

○若い世代・就労世代への食育について

- ・北九州市八幡東区食生活改善推進員協議会におけるこれまでの若い世代及び就労世代への食育活動の紹介。若い世代では高校と連携し、バランスのよい食事とおやつのとおり方について。主として就労世代は八幡東消防所員を対象にBMIの確認と調理実習を実施しての減塩の味の確認。
- ・市内の調理科のある高校での食育の実施
- ・市内大学での「ミールカード」(学食での食事の内容が親元に届く仕組み(制限金額有)と大学での低価格での朝食提供はできないか。
- ・大学に限らず、企業においても朝食の提供などによりその重要性を広めて欲しい。
- ・時間もなく手作りできない方へも自分で安価で簡単に作れる方法を SNS などで発信できないか。手作りを実践すれば、その結果体重減少や減塩にもつながるのではないか。
- ・若い頃の乱れた食習慣が 5 年、10 年後に健康を崩す原因となる。北九州市の様々な取り組みを多くの人にどのように伝えていけばよいか。
- ・健診結果票にどのように生活習慣を変えたらよいかについて、具体的なアドバイスが保健指導等に出向かなくても好きな時間に情報収集できないか。
- ・コンテンツの見せ方の工夫やアイデアが必要。ライフハック的なキャッチコピーなど
- ・デジタル化もあるが、リアル体験で朝食の必要性、自身の体調等の変化を感じてもらうことが必要。
- ・コンビニ等で野菜摂取を促すPOP掲示などができれば、お客にもお店にもメリットがあるのではないか。

○新規検討事業「食と健康ステーション」(仮称)について

- ・若い世代では、二次元コードだけでは参加が期待できないので、ステッカーにクイズを載せ、説明を二次元コードより行うのはどうか。
- ・GO! GO! あるくっちゃKitaQと連携し、健康づくり応援店活用等のインセンティブをつけることにより、若い世代への食育が推進できるのではないか。
- ・「カッコいい身体」「美しい姿」といったような美容の視点からの食への関心を高める
- ・若い人にはゲーム感覚で食育について興味を持って楽しめるアプリがあればよい。
- ・保育所や学校給食では、献立表等に学習の二次元バーコードを付けるとよいのではないか。
- ・デジタルサイネージ等を活用し、学習動画を流しておくとも読み込まなくても目にすることができる。

○「きたきゅう健康づくり応援店プラス」について

- ・SNSなどでの若者の心を取り込むようなお店の紹介
- ・おいしい食事を短時間でとる中でできる栄養バランス、減塩

○郷土料理について

・北九州市は食材が豊富である。北九州の郷土料理を知らない人が多いので、郷土料理を広めていけたらと思う。かつて市で食生活改善推進員協議会や西南女学院大学に協力いただき、郷土料理の冊子を作っている。

議題3 次期北九州市食育推進計画のスローガン(案)について

- ・懇話会で出されたスローガン(案)やキーワード、意見を参考に、健康推進課で案を検討し、次回提案を行う。
- ・「食は命」、食べることの楽しさや大切さを表現したもの、「未来」、「レボリューション」